



市議会令和3年6月定例会が、6月7日から28日までの22日間の日程で開催されました。開会日に、当面する市政の重要課題について、表原市長が所信を表明しました。抜粋して要旨部分のみを掲載します。

新型コロナウイルスワクチン接種 速やかな実施に向けて

65歳以上の高齢者の方々へのワクチン接種は、5月17日から、市内32の医療機関において個別接種が開始され、6月5日から、スポーツ総合センターサブアリーナで、集団接種を実施しています。

早期の接種を希望される高齢者の方々の声にできる限り応えるべく、5月27日、徳島県知事に対し、市開設の集団接種会場への医師等の派遣、県開設のアスティとくしまでの集団接種への阿南市民の受け入れについて要望を行いました。併せて、阿南医療センターに協力を要請しましたところ、集団接種会場へ医師を派遣していただけるこ



集団接種（スポーツ総合センター）

とになりました。

こうしたご協力に加え、個人的なご協力の申し出を頂いている医師の方も含め集団接種体制の拡充について一定の目途がついたことから、6月10日より、予約枠の拡大を図ることとしました。

阿南市医師会をはじめ関係機関による献身的なご協力を頂きながら、接種を希望される全ての市民の皆さまに、可能な限り速やかにワクチン接種を実施できるよう全力で取り組みます。

阿南市行財政 集中改革プランの策定

令和3年度から令和5年度までを計画期間とする阿南市集中改革プランの策定（7月策定予定）に向け、阿南市行財政改革懇話会の皆さまからご意見を頂き、原案を作成しました。

集中改革プランは、行政を経営するという視点に立ち、「定員適正化」「財政健全化」「公民連携」「公共施設マネジメント」「スマート自治体」の5つを重点目標としています。「定員適正化」では、業務の簡素化・効率

な見地で、駅

周辺地区の課題等を踏まえ

たまちづくり基本方針、土地利用方針、

市民会館解体後の跡地をはじめとする

市有地等における導入機能

および事業手法など、新たな拠点づくり

のためのビジョンについて、



ご意見を頂きたいと考えています。

検討会議でのご意見等を踏まえ、可能な限り速やかに素案を取りまとめ、広く市民の皆さまのご意見をお伺いするとともに、事業計画についての市場性の把握や事業実現に向けたアイデアを収集するため、民間事業者からご意見、提案を求めることで、より実効性の高いまちづくり構想として取りまとめます。

「阿南市パートナーシップ、 ファミリーシップ制度」導入に着手

「パートナーシップ制度」は、誰もが性別等にかかわらず、人生のパートナーや大切な人と、

化による職員数の削減に取り組むとともに、

民間企業への研修派遣や関係行政機関との人事交流、民間人材の活用による人材育成を推進します。

「財政健全化」では、予算の要求基準を設けるシーリングを試行的に導入し、歳出削減を図るとともに、特定目的基金の効果的かつ機動的な活用や外部資金の調達による財源の確保に努めます。

「公民連携」では、スポーツ施設への指定管理者制度およびネーミングライツ制度の導入を積極的に推進するとともに、民間保育施設の誘致など多様な形で民間の強み、ノウハウを取り入れ、市民サービスの向上をめざします。

「公共施設マネジメント」では、未利用不動産の売却・貸付に取り組み、新たな財源確保および有効活用に努めるとともに、かもだ岬温泉保養施設の経営や運営体制の抜本的な見直しを、スピード感をもって取り組みます。

「スマート自治体」では、国が示す自治体情報システムの標準化・共通化、自治体の行政手続のオンライン化を着実に推進するとともに、デジタル人材の育成と相まって、市民サービスの利便性向上、行政の効率化に資する本市な

家族として安心して暮らすことができる社会をめざすものです。2015年に渋谷区・世田谷区から始まり、現在では100を超える自治体で制度化されています。

本市においても、こうした先進事例も参考としつつ、パートナーと生活を共にする子どもに対しても家族として証明する「ファミリーシップ制度」導入も視野に、庁内検討組織を立ち上げ具体的な制度設計に着手します。

公共事業の入札 総合評価落札方式を導入

公共工事における入札および契約の適正化の促進について、国は価格以外の多様な要素をも考慮し、価格および品質が総合的に優れた内容の契約、すなわち総合評価落札方式の導入を推奨しています。

この度、抜本的に実施方針の見直しを行い、また、低入札価格調査制度も整備した上で、「(仮称)羽ノ浦屋内運動場建設事業」において「簡易型総合評価方式」を導入し、入札を実施します。

今後の公共工事では、原則として設計金額が2億円以上の工事を対象に総合評価方式を導入します。

らではの行政デジタル化を推進します。重点目標を3年間で集中的に実践し、着実な成果を上げること、安定的な財政基盤の確立、ひいては総合計画に掲げる「市民と共に創る持続可能なまちづくり」をめざします。

阿南の未来「自分ごと」会議の実施

昨年度、本市では初の試みとして実施した阿南版事業仕分けを、制度運用の改善見直しを行った上で「阿南の未来「自分ごと」会議」市民による事業評価会議」として8月29日(日)に実施します。

今年度も5事業を対象とし、事業の選定や市民評価人の募集に向けて準備を進めています。市民目線で評価して頂き、新たな気づきや改善見直しにつながる取組は、「市民と共に創る持続可能なまちづくり」を進める上でも、大変有意義かつ重要であると捉えています。今年度の実施内容も含め「成長するシステム」として、不断の改善見直しを行います。

阿南駅周辺整備事業について

JR阿南駅周辺エリアの新たな拠点づくりに向けて、今年度から本格的な在り方の検討に着手します。現在、7月下旬に予定している第1回「阿南駅周辺まちづくりビジョン検討会議」の開催に向け準備を進めています。

検討会議では、構成員の皆さまから専門的

全文は、市ホームページで公開しています。また、後日作成する市議会会議録は、市立図書館等で閲覧することができます。